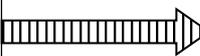
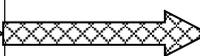
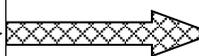
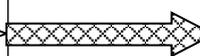


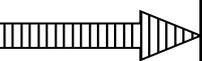
# 実施計画進行管理票

<b>重点項目</b>	市民参画と協働の推進			<b>区分</b>	新規
<b>重点的な取組</b>	91	地域子育て支援拠点事業「ひろば型」を協働で実施		<b>担当課</b>	子育て支援課
<b>現状と課題</b>	<p>地域の子育て支援として、市内の保育所（園）7箇所に子育て支援センターを設置し、保育所が持つ本来の機能を活かした支援を行っている。</p> <p>しかしながら、比較的規模の大きい「センター型」では利用のしづらい親子も多く、子育て家庭が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で、相互に交流の図れる場が必要である。</p>				
<b>計画内容</b>	NPO法人などとの協働により、民家や空き店舗等を利用した常設の「ひろば」を中学校区毎に開設する。				
<b>期待される効果</b>	親子の出会いや交流を大切にしながら、安心して子育てできる環境をつくり、親として自然に子育ての力が発揮できるよう支援するとともに、子育て家庭と地域をつなぐことができる。				
<b>数値設定</b>	実施箇所数			<b>基準値</b>	0箇所
<b>スケジュール表</b>					
<b>具体的取組</b>	<b>平成22年度</b>	<b>平成23年度</b>	<b>平成24年度</b>	<b>平成25年度</b>	<b>平成26年度</b>
地域子育て支援拠点施設「ひろば型」の開設					
<b>進行状況</b>	<p>東中学校区に1箇所設置。</p> <p>市内のコミュニティ組織、NPO団体を対象に「ひろば型」事業実施者(団体)の募集説明会を実施(平成23年9月27日)。</p> <p>平成24年度から飯山南コミュニティが東小川児童センターにおいて事業を開始。</p> <p>平成25年度の実施を検討し、綾歌地区での新たな事業実施の目途がたった。</p> <p>平成23年度で予定していた新たな1ヶ所の開催が実施場所等の調整で遅れ、平成24年度実施となるなど、進捗は遅れている。</p> <p>平成25年度から、綾歌市民総合センター内において、NPO団体により新たに1ヶ所を事業開始した。</p> <p>平成26年度から社会福祉法人が、南中学校区において事業を開始することとなった。</p> <p>なお、平成25年度より国の制度の見直しがあり、地域子育て支援拠点事業において「ひろば型」と「センター型」の区別がなくなったが、子育て親子の「集いの場」づくりとしても重要な本事業の拡充に取り組んだ。</p> <p>平成26年度から、南中学校区(川西町)において、社会福祉法人が新たな「ひろば型」1ヶ所を開設した。「丸亀市こども未来計画」の策定においても、地域子育て支援拠点事業のあり方を検討した上で、今後も地域の未就園児とその保護者への子育て支援を推進していく。</p>				
<b>目標数値</b>	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所
<b>実績数値</b>	1箇所	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所
<b>効果額</b>	—	—	—	—	—

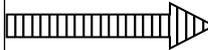
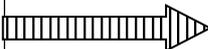
# 実施計画進行管理票

<b>重点項目</b>	市民参画と協働の推進		<b>区分</b>	新規
<b>重点的な取組</b>	92	発達障がい児支援協働事業の実施	<b>担当課</b>	幼保運営課
<b>現状と課題</b>	発達障がい児に対する相談・支援体制が未だ十分ではなく、子どもを安心して生み育てる環境の整備の観点からも保・幼・小・中学校までの一貫した支援体制を構築する必要がある。			
<b>計画内容</b>	下記のような事業を実施する。 ○ 発達障がいを持つ子どもの保護者のための相談事業 ○ 保育士、教諭などのサポート事業 ○ 関係者の交流事業 ○ 対象児に対するカウンセリング事業			
<b>期待される効果</b>	子どもの自立に向け支え続ける保護者への支援が充実するとともに、子ども達が通う学校等への支援も向上し、安定・継続した支援体制となる。			
<b>数値設定</b>	—		<b>基準値</b>	—

## スケジュール表

具体的取組	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
発達障がい児支援事業の実施					
<b>進行状況</b>	保、幼、小中学校の対象児に対してカウンセリングを実施。保護者のための相談及び交流の場「ほっぺ」を設置。関係者へのサポート事業（研修、交流）を実施。	相談事業「すきっぷ」を3回開催31名参加。交流事業「ほっぺ」45回開催104名参加。個別相談35回開催。巡回カウンセリングを民間保育所へも拡充した。また、保・幼・小・中学校すべてで巡回カウンセリングを実施した（保51回、幼小中99回）。未就園児の保護者を対象とした「はぐみくらぶ」を設置、相談事業を開始した。（平成23年9月）	相談事業「すきっぷ」を10回開催し、125名が参加。交流事業「ほっぺ」を112回開催し、178名が参加。個別相談、巡回カウンセリング、未就園児の保護者を対象とした「はぐみくらぶ」相談事業を継続して着実に実施する。	相談事業「すきっぷ」（10回実施 109名参加）、交流事業「ほっぺ」（107回実施 310名参加）、個別相談（111人実施）、巡回カウンセリング（64回、558人実施）、未就園児の保護者を対象とした「はぐみくらぶ」（18回実施 50名参加）、相談事業を継続して着実に実施した。受講者より評価の高い勉強会（セミナー 2回実施 167名参加）や研修会（ハートサポート4回実施 165名参加）においても一層現場に繋げられるものになるよう、内容等の充実を図った。	昨年度と同様の事業に加えて、新たな事業として相談員常駐個別相談「まーる」を分室で開始した。毎月2日を基本に、臨床心理士等による個別相談を実施した。（30日、117人実施）また、巡回カウンセリングや勉強会などの機会を活用して、保育士の中から発達障がい児保育について各保育所保育士の指導や、相談等に応じることができるコーディネーターを養成し、発達障がいに関して保護者が相談しやすい体制の強化を図った。
<b>目標数値</b>	実施	実施	実施	実施	実施
<b>実績数値</b>	実施	実施	実施	実施	実施
<b>効果額</b>	—	—	—	—	—

# 実施計画進行管理票

<b>重点項目</b>	市民参画と協働の推進		<b>区分</b>	継続	
<b>重点的な取組</b>	93	コミュニティと協働で取り組む認知症予防の実施	<b>担当課</b>	高齢者支援課	
<b>現状と課題</b>	<p>本市における認知症の予防・ケアを推進していくため、平成20年度から介護予防モデル事業を市内5ヶ所のコミュニティで実施しており、各地域の状況に応じた認知症予防の取り組みが徐々に進んできている状況である。</p> <p>今後は、コミュニティで実践できる進行プログラム作り(取り組み内容ではない)を行い、市内全コミュニティにおいて取り組んでいけるよう展開していくことが必要である。</p>				
<b>計画内容</b>	<p>モデル事業を総括してのプログラムづくり、モデル事業の報告・シンポジウムを開催し、市民・コミュニティへの周知を行い理解を得ていく。</p> <p>同時に、市内全域のコミュニティとの協働を推進していくことで、本市の認知症予防・介護予防を実践していく。</p>				
<b>期待される効果</b>	<p>個人が認知症の理解を深め、早期発見・早期対応が行なえるようになるとともに、地域全体で見守り・支える意識が向上する。</p> <p>また、コミュニティを基盤に住民の自主的な活動を通して展開していくことは、地域の力を引き出しコミュニティ活動の活性化に繋がる。</p>				
<b>数値設定</b>	実施コミュニティ数		<b>基準値</b>	5箇所	
<b>スケジュール表</b>					
<b>具体的取組</b>	<b>平成22年度</b>	<b>平成23年度</b>	<b>平成24年度</b>	<b>平成25年度</b>	<b>平成26年度</b>
プログラムづくり					
モデル事業・シンポジウム等の実施					
コミュニティとの協働で実施					
<b>進行状況</b>	<p>モデル事業では、各コミュニティで現状の把握や取り組むべき課題をグループワークを行い、コミュニティの特性に合った取り組みを行った。</p> <p>その報告と今後の事業展開へのシンポジウムを3月に開催し、計画どおりとなっている。</p>	<p>コミュニティに認知症予防での協働事業の趣旨を説明し、コミュニティと調整して、4コミュニティにて新たに事業を開始した。</p>	<p>前年度までに事業開始したコミュニティにおいて、取り組みを継続する働きかけを行った。</p> <p>また、未実施のコミュニティのうち、2コミュニティで新たに事業を開始した。</p>	<p>前年度までに事業開始したコミュニティにおいて、取り組みを継続する働きかけを行う。</p> <p>新たに3コミュニティで実施体制が整い、取組を開始した。</p>	<p>前年度までに事業開始しているコミュニティにおいては、取り組みを継続する働きかけ、支援を実施。</p> <p>未実施であった残りの3コミュニティでも実施体制が整い、取組を開始、市内全17コミュニティで事業展開が完了した。</p>
<b>目標数値</b>	5箇所	11箇所	17箇所	17箇所	17箇所
<b>実績数値</b>	5箇所	9箇所	11箇所	14箇所	17箇所
<b>効果額</b>	-	-	-	-	-

# 実施計画進行管理票

<b>重点項目</b>	市民参画と協働の推進		<b>区分</b>	継続	
<b>重点的な取組</b>	94	提案公募型協働事業の推進	<b>担当課</b>	市民活動推進課	
<b>現状と課題</b>	市民活動団体等からの提案による提案公募型協働事業を募集・実施しているが、提案件数の減少や継続的な事業につなげていない。				
<b>計画内容</b>	提案公募型協働事業を継続的な事業に繋げるため、単年度で実施する事業とともに複数年度にわたり行う事業についても実施し成果を示すことにより、協働する課（各部署）の事業としての育成につなげる。				
<b>期待される効果</b>	<p>これまでは単年度の委託事業として実施し、次年度以降の継続が難しかったが、2年以上継続することにより、より大きな課題に対してアプローチできる。</p> <p>また、1年で振り返りを行い事業効果を検証することにより、継続性の高い協働事業に育てていくことが可能となる。</p>				
<b>数値設定</b>	実施件数		<b>基準値</b>	2件	
<b>スケジュール表</b>					
<b>具体的取組</b>	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
制度設計の協議、見直し					
実施					
<b>進行状況</b>	<p>3件の提案が採択され、事業計画に基づき2月末までの事業を実施した。</p> <p>また、来年度からは活用しやすくなるよう要綱の見直し等について準備した。</p>	<p>2年に渡って申請を可能にすることで、継続性の高い事業に活用しやいように募集要項を見直したが応募者なし。</p> <p>次年度に向けて再度募集期間も含めて要項等について検討した。</p>	<p>ホームページ等で、全庁で行っている協働事業を公表し、広く周知することで協働について市民にも理解してもらい、提案公募しやすい環境を整えた。</p> <p>また、第二次推進計画の策定に向け、過去に提案公募型協働事業を実施した市民活動団体及び職員へ協働事業についてもヒアリングを実施するとともに、市民アンケートも行った。</p>	<p>市民活動団体へのアンケート等を実施し、その結果や、昨年度実施した協働に関するアンケート及び第一次協働推進計画の検証結果を踏まえ、自治推進委員会委員からの意見等をいたさながら、さらなる協働の推進を図るため、協働実行計画を策定した。</p>	<p>協働実行計画に基づき協働を推進するとともに、事業の推進施策のあり方について検討し、よりわかりやすい制度となるよう、来年度より名称を変更（「提案公募型」から「団体提案型」に）することとした。</p> <p>事業については2件の提案があり、いずれも実施した。</p>
<b>目標数値</b>	3件	4件	4件	4件	4件
<b>実績数値</b>	3件	0件	0件	0件	2件
<b>効果額</b>	—	—	—	—	—

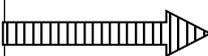
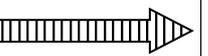
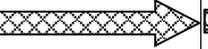
# 実施計画進行管理票

重点項目	市民参画と協働の推進		区分	新規	
重点的な取組	95	市提案型協働事業の推進	担当課	市民活動推進課	
現状と課題	現在、市では公共的なサービスを市民等に対し一律的に提供しているが、市民活動団体等とともに事業を実施することにより、多様なニーズに対応することが必要になってきている。				
計画内容	市が提案した事業に対し、市民活動団体等が協働の提案をしてくることにより、地域のニーズに応じた細やかなサービスの提供を図る。				
期待される効果	サービスを受ける市民のニーズにあったものが提供されることにより、市民の満足度が高まる。 また、自分たちのまちを自分たちの手でより良くするという意識が醸成されるとともに、市民活動団体等の活動の強化に繋がる。				
数値設定	実施件数		基準値	6件	
スケジュール表					
具体的取組	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
制度設計の協議					
実施					
進行状況	<p>市からの提案による協働事業の実施に向け、現在要綱の制定等を準備した。</p> <p>各課に協働で実施することのできる事業の抽出を依頼。 7件の課題テーマの提案があり、ホームページ、チラシで事業企画を募集。 うち1件について応募があり、事業実施した。</p> <p>ホームページ等で、全庁で行っている協働事業を公表して、広く周知することで協働について職員に理解を促し、各課から事業を提案しやすい環境を整備した。 前期募集では8件の課題テーマの提案に対して2件の事業を実施、後期募集として6件の課題テーマで募集したが、応募がなかった。 また、第二次推進計画の策定に向け、協働に関する市民アンケートを実施した。</p> <p>市民活動団体へのアンケート等を実施し、その結果や、昨年度実施した協働に関するアンケート及び第一次協働推進計画の検証結果を踏まえ、自治推進委員会委員からの意見等をいただきながら、さらなる協働の推進を図るため、協働実行計画を策定した。</p> <p>協働実行計画に基づき協働を推進したほか、庁内協働推進員に対しても事業の周知を行い、より一層の事業の活用を依頼した。 また、市提案型として、各課より3件の課題テーマの提案があり、ホームページ・広報等で周知した結果、応募のあった1件の事業を実施した。</p>				
目標数値	—	7件	7件	7件	7件
実績数値	—	1件	2件	0件	1件
効果額	—	—	—	—	—

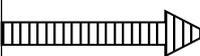
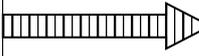
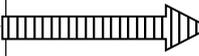
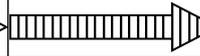
# 実施計画進行管理票

<b>重点項目</b>	市民参画と協働の推進			<b>区分</b>	新規
<b>重点的な取組</b>	96	環境美化推進員との協働の実施		<b>担当課</b>	環境安全課
<b>現状と課題</b>	地区内の美化パトロールや清掃の実施、また、環境美化推進員の代表者会を年1回行うとともに、活動報告書を提出してもらっている。				
<b>計画内容</b>	市から、各コミュニティの地区内における市民からの苦情箇所の情報提供を行う。 また、地区コミュニティの環境部会等と推進員との連携を強化し、推進員からも地区の現状報告を受けるなど、行政とコミュニティ、そして環境美化推進員が三位一体となって美化の推進に取り組む。				
<b>期待される効果</b>	各地域での環境悪化場所の早期把握と、早期の処理により、ごみのポイ捨て、犬のふん等の苦情の減少を図り、きれいなまちづくりを推進する。				
<b>数値設定</b>	—			<b>基準値</b>	—
<b>スケジュール表</b>					
<b>具体的取組</b>	<b>平成22年度</b>	<b>平成23年度</b>	<b>平成24年度</b>	<b>平成25年度</b>	<b>平成26年度</b>
関係者との協議実施					
<b>進行状況</b>	環境美化推進員との代表者会を実施するとともに、推進員からの地区の現状も随時受け付け、環境美化の推進に取り組んだ。	2年間の任期満了に伴い、新推進員を委嘱した。環境美化推進員との代表者会を実施した。推進員から地区の現状を随時受け付けているが、特に飯山地区で美化啓発看板の申請が多くあった。	環境美化推進員との代表者会を実施し、各地域での活動状況等の意見交換を行うことにより、情報の共有を行った。推進委員からの地区の現状も随時受け付け、環境美化の推進に取り組んだ。	2年間の任期満了に伴い、新推進員を委嘱した。環境美化推進員の代表者会を実施し、各地区の活動等の意見交換をし、情報の共有を行った。	環境美化推進員との代表者会を実施し、各地区での活動状況の情報交換を行った。推進員から地区の状況を把握し、各コミュニティ、推進員の協力を得ながら、各地区における苦情に対応し美化の啓発に取り組んだ。
<b>目標数値</b>	実施	実施	実施	実施	実施
<b>実績数値</b>	実施	実施	実施	実施	実施
<b>効果額</b>	—	—	—	—	—

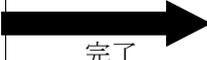
# 実施計画進行管理票

<b>重点項目</b>	市民参画と協働の推進		<b>区分</b>	継続	
<b>重点的な取組</b>	97	地域住民団体（公園愛護会）との協定締結による公園緑地の維持管理の実施	<b>担当課</b>	都市計画課	
<b>現状と課題</b>	<p>現在、市内には都市公園・子供の遊び場等は128ヶ所あり、中でも地域的な公園等については、利用者が特定のである。</p> <p>その維持管理においても地元自治会や地域団体など原則的に地元管理を優先しているが、古くからある子供の遊び場等については、管理の実態が不明瞭であり、十分な管理に至らず、市への苦情等も多い。</p> <p>住民のニーズに適正に対応するためには、特定の利用者である地域団体と連携した維持管理が必要であり、また、持続可能な仕組みが求められている。</p>				
<b>計画内容</b>	住民団体との協定の要綱を定め、公園緑地の維持管理に意欲を持つ団体と協定を締結し、側面的な支援を行いながら、より質の高いサービスを提供できるよう育成を図る。				
<b>期待される効果</b>	<p>身近にある公園緑地を利用者自身が維持管理を行うことで、公園緑地の愛護精神の向上及び地域連帯の醸成が期待できる。</p> <p>また、協定を持続可能なものとすることで、住民自治が促進される。</p>				
<b>数値設定</b>	住民団体への公園維持管理委託数		<b>基準値</b>	9件	
<b>スケジュール表</b>					
<b>具体的取組</b>	<b>平成22年度</b>	<b>平成23年度</b>	<b>平成24年度</b>	<b>平成25年度</b>	<b>平成26年度</b>
協定要綱の策定及び公園等管理実態調査				【平成24年1月計画変更】	
協定の締結・推進					
<b>進行状況</b>	<p>計画どおり地元組織などが利用、活用している公園や子供の遊び場を抽出し、「公園愛護会」の結成や自主的な管理について啓発している。</p> <p>管理実態調査について作業を行った。また協定の要綱について検討した。</p> <p>コミュニティ、自治会に対し公園の利用状況や管理実態について、アンケート調査を実施した。地域の自主的な管理に向けた意見交換会を実施した。</p> <p>コミュニティ、自治会に対し公園の利用状況や管理実態について実施したアンケート調査を踏まえて、前年度に引き続き、地域の自主的な管理に向けた意見交換会を実施した。</p> <p>公園利用関係者との協議を行い、新たに2団体との協定を締結し、公園の自主的な管理を推進した。</p>				
<b>目標数値</b>	9件	12件	14件	16件	18件
<b>実績数値</b>	9件	10件	12件	15件	17件
<b>効果額</b>	-	-	-	-	-

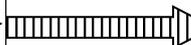
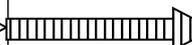
# 実施計画進行管理票

<b>重点項目</b>	市民参画と協働の推進		<b>区分</b>	新規	
<b>重点的な取組</b>	98	子育て世代のための公園、遊び場マップの作成	<b>担当課</b>	都市計画課	
<b>現状と課題</b>	<p>現在、市内の都市公園、子供の遊び場等が128箇所あるが、利用者への情報提供は市ホームページで位置を示す程度にとどまり、施設の内容などの具体的な表示はない。</p> <p>市民とりわけ子育て世代の利用者から、情報が少ない、公園が少ない、公園や遊び場を作って欲しい等の要望が寄せられており、市民ニーズに対応し、公園の利活用を促進するためには、利用者目線のより分かりやすい情報発信が必要である。</p>				
<b>計画内容</b>	市内の子育て支援活動に取り組むNPOとの協働により、公園の利用調査を実施し、調査結果をとりまとめ、公園マップを作成する。				
<b>期待される効果</b>	<p>NPOとの協働により、子育て世代の利用者目線からの分かりやすいマップとなり、市民ニーズに対応した公園の情報発信が可能となる。</p> <p>そのことにより、幅広い公園利用と活用が期待できる。</p> <p>また、利用調査から、公園内の問題点が確認でき、よりよい維持管理や運営に反映することができる。</p>				
<b>数値設定</b>	—		<b>基準値</b>	—	
<b>スケジュール表</b>					
<b>具体的取組</b>	<b>平成22年度</b>	<b>平成23年度</b>	<b>平成24年度</b>	<b>平成25年度</b>	<b>平成26年度</b>
マップ作成について検討・方針決定					
公園調査・マップ作成					
冊子作成					
公表・情報発信					
<b>進行状況</b>	<p>計画どおり緑の基本計画ワークショップなどで、子育て支援活動に取り組むNPOなどから意見を伺った。</p> <p>マップの基本情報となる台帳についても現在データ化を進めた。</p>	<p>公園台帳のデータ化については完了した。</p> <p>引き続き利用しやすいマップの内容について子育て支援活動に取り組むNPOから意見を聞くとともに、市全域の公園と遊び場の配置図を作成した。</p>	<p>都市公園33箇所において、公園調査とマップ作成（データ化）を実施し、市ホームページに掲載した。</p> <p>配布用印刷物については次年度対応する。</p>	<p>公園マップについて、公園施設データの更新を行い、公園マップ印刷原稿を作成する。</p>	<p>各公園の施設等更新情報は、市ホームページで継続し掲載しているが、冊子の作成については、整備中の公園の掲載など内容の充実を図っており、平成27年度で印刷を行うこととした。</p>
<b>目標数値</b>	検討	実施	実施	実施	実施
<b>実績数値</b>	検討	実施	実施	実施	実施
<b>効果額</b>	—	—	—	—	—

# 実施計画進行管理票

重点項目	財源の確保と行政コストの縮減		区分	新規	
重点的な取組	99	官民協働事業による暮らしの便利帳の作成	担当課	秘書広報課	
現状と課題	<p>暮らしの便利帳（市民便利帳）は、平成17年に全額市費にて作成し、全戸配布を実施したが、その後平成22年度に見直しをし、庁内ランの掲示板に掲載しているが、市民への配布は行っていない。</p> <p>今回の便利帳は行政情報だけでなく、市民生活に身近な生活情報も加え、より充実した内容にしたものを全戸配布し、家庭の保存版として使えるものとする。</p>				
計画内容	<p>暮らしの便利帳を官民協働で作成するために、企画提案業者2社を対象に、6月に企画コンペ方式により業者選定を行う。</p> <p>8月から行政情報等の作成を開始し、平成24年1月に最終校正を行い、1月末に完成納品、2月中に全戸配布する予定である。また、広告募集については、全て作成業者が行う。概ね2年間程度使用するものとし、2年後の平成25年度において、あらためて、作成業者を選定し、発刊を行う。</p>				
期待される効果	作成から印刷、配布まで広告料により賄われるため、経費はゼロとなる。				
数値設定	—		基準値	—	
スケジュール表					
具体的取組	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
官民協働事業（暮らしの便利帳）	【平成23年8月新規追加】	 完了			
進行状況	—	<p>暮らしの便利帳の作成業者の選定にあたり、企画コンペを6月に実施し、7月に作成業務協定を締結した。</p> <p>8月から作成業務を開始し、平成24年1月中旬に校了し、同月末に納品、2月中に全戸配布完了。</p>	—	—	<p>組織改正に合わせ、また合併10周年記念事業として発刊。作成業者との共同発行に関する協定を締結し、広告収入により作成、全戸配布した。広告募集についてはすべて作成業者が行い、市は0予算事業で行った。</p>
目標数値	—	実施	—	—	実施
実績数値	—	実施	—	—	実施
効果額	—	—	—	—	—

# 実施計画進行管理票

<b>重点項目</b>	財源の確保と行政コストの縮減		<b>区分</b>	新規	
<b>重点的な取組</b>	100	丸亀市コミュニティバス時刻表への広告掲載による財源の確保	<b>担当課</b>	環境安全課	
<b>現状と課題</b>	丸亀市コミュニティバスは、平成23年4月に路線と時刻を改正し、5路線72便で運行している。 利用者数は微増しているが、運賃収入だけでは運行経費をまかなうことはできず、国、県、市から補助金を受けて運行している。				
<b>計画内容</b>	路線や時刻の改正に併せて、コミュニティバス時刻表に広告を掲載し、歳入の確保に努める。				
<b>期待される効果</b>	丸亀市コミュニティバス時刻表に広告を掲載することにより、広告料を市補助金の財源に加えることができる。				
<b>数値設定</b>	広告収入		<b>基準値</b>	—	
<b>スケジュール表</b>					
<b>具体的取組</b>	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
丸亀市コミュニティバス時刻表に広告を掲載する					
<b>進行状況</b>	—	コミュニティバス時刻表に広告を導入すべく、9月に広告主を募集し、広告入り時刻表を1万部作成した。 時刻表の在庫が無くなるか時刻改正時に導入を検討する。	10月にコミュニティバスの時刻表を1万部印刷した際、広告を掲載した。	平成26年3月に丸亀市コミュニティバスの時刻表を6,000部増刷した際、広告を掲載した。	10月に一部時刻等を変更するため、時刻表を印刷した。今回も広告を掲載し、市補助金の財源とする。
<b>目標数値</b>	—	実施	実施	実施	実施
<b>実績数値</b>	—	30千円	30千円	30千円	50千円
<b>効果額</b>	—	30千円	30千円	30千円	50千円